

平成31年度  
福島大学大学院  
人間発達文化研究科  
募集案内

教職実践専攻  
地域文化創造専攻  
学校臨床心理専攻



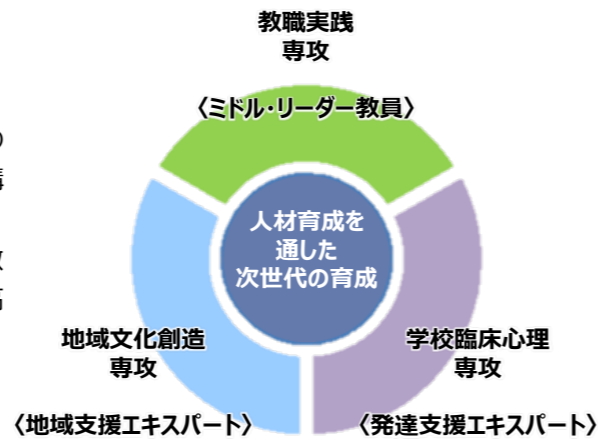
# 〈人間発達文化研究科〉は人材育成を通して次世代を創出します

## 人間発達文化研究科の目的

人間発達文化研究科は、教育を「人間発達」と「文化」の両視点からとらえ直し、それぞれの関心に応じて深化させるだけでなく、従来の枠組みを越えた専門性を構築することを目的とします。そのために、自らの学問追求の成果を実践の場に生かし、その結果から自らの学問追求の課題を省察します。

こうして、教育と、人間発達、言語、地域生活、数理、芸術、スポーツにかかわる諸学問を、現実の課題に関係づけることによって、それぞれの学問体系を再構成します。

このように、地域社会の発展に資する知の在り方を探究することを通して、教員としての専門性の向上や、今日の課題に応えることのできる実践力のある高度専門職業人の育成をめざします。



## アドミッションポリシー

人間や地域や文化の抱える課題を自覚し、次世代を育てようとする意欲をもち、「人材育成のエキスパート」（経験を通して得た知識や技能を駆使できる熟達者）となることを希望する学生または社会人を受け入れます。

## 特色ある3つの専攻

### ■ 教職実践専攻（教職大学院）

理想とする教員像と自らの役割を常に問い直し、学校のマネジメント経験を積みながら教員力を向上させていく人材、学校教育を牽引する「ミドル・リーダー」の養成をめざします。

教職経験や自らの教員像と役割に合わせて、3コースから学びを選択します。

#### 〈ミドル・リーダー養成コース〉

教職経験が10年程度以上の現職教員のみが対象です。自らの教育実践力（授業力、生徒指導力など）をもとに、学期、年間等の見直しを持ち、学年レベル、学校レベルの課題に対応する力を育みます。

#### 〈教育実践高度化コース〉

若手現職教員及び学部新卒学生が対象です。若手現職教員に対しては、授業力や生徒指導力の向上をめざすと同時に学校課題意識をもった「次のミドル・リーダー」にふさわしい力を、新卒学生に対しては、教育実践の課題を総体として理解し学校教員としての自覚を育て、「将来のミドル・リーダー」にふさわしい力を育みます。

#### 〈特別支援教育高度化コース〉

現職教員及び学部新卒学生が対象です。特別支援学校のマネジメント力または高度な実践力を育み、特別支援学校教員の資質・能力の向上を図ります。

理論（「共通5領域」、「選択領域」）と実践（「学校における実習」、「プロジェクト研究」）を往還させながら学校の教育課題に取り組み、年2回のラウンドテーブルでの実践報告・交流を通して、学びを深めています。（修了要件単位：46単位）

### ■ 地域文化創造専攻

諸文化を構成する専門的学問分野における研究・実践力を形成するとともに、地域支援に必要なコーディネート力及び人材育成力をあわせもつ〈地域支援エキスパート〉の養成をめざします。

#### ■ 人間発達支援領域

幼児教育や保育、そして教育心理学、発達心理学、障害児学などの発達科学に関する研究を通して、高い専門性を有し発達の課題に実践的に取り組む人材を育成します。

#### ■ 日英言語文化領域

言語研究・文学研究を通じて人間や社会に対する深い洞察力を身につけ、文化の橋渡し役として、文化の継承・伝達・創造に寄与する能力を身につけた人材を育成します。

#### ■ 地域生活文化領域

社会科学と生活科学をつなぎ合わせ、現代の社会の実態を把握するための研究方法を身につけ、現代社会が生み出す複合的問題の解決を目指す人材を育成します。

#### ■ 数理学領域

数理諸科学の研究を通して、自然や社会の事象を数理的・論理的に認識するための教育・研究を行い、社会や企業などの組織で十分に活用できる人材を育成します。

#### ■ スポーツ・健康科学領域

現代におけるスポーツ・体育・健康の諸問題を科学的認識に基づいて解決し、スポーツ文化の発展や、人々の健康的なライフスタイル確立に貢献できる人材を育成します。

#### ■ 芸術文化領域

音楽や美術表現の専門的なスキルの獲得及び表現の理論を基礎におき、表現活動を通して地域再生、活性化に結びつけることのできる人材を育成します。

「課題研究」や「専門演習」を軸とした専門探究力と、領域共通科目「領域コミュニティー」等による研究交流を通じた省察的実践力の獲得をめざします。「プロジェクト実践研究」や修了制作・演奏など多様な修了研究があります。（修了要件単位：30単位）

### ■ 学校臨床心理専攻

臨床心理学及び学校福祉の臨床的な実践研究に基づき、様々な課題を抱える子ども・青年やその家族に対応する効果的な指導・援助・支援を行う〈発達支援エキスパート〉の養成をめざします。

#### ■ 臨床心理領域

円滑に学校生活を送ることを目指す教育臨床と、子どもの発達に関わる発達臨床、精神障害を対象とした病院臨床、非行問題等の心理臨床などのアプローチを行います。  
（臨床心理士養成に関する指定大学院（一種））  
公認心理師に対応しています。

#### ■ 学校福祉臨床領域（募集停止）

子どもの生活指導、教育相談、学級経営、学校保健・健康教育などの教育福祉を対象とした実践研究、及び教育実践のための授業臨床や学級指導などの実践的研究を行います。

昼夜開講制の下で、基礎論、方法論、実践論の3つの区分において、専門的な知識や技能を修得します。必要な科目を履修し、臨床心理士や学校心理士の資格取得をめざすことができます。（修了要件単位：30単位）

### ■ 学位

教職実践専攻： 教職修士（専門職）

地域文化創造専攻： 修士（地域文化）

学校臨床心理専攻： 修士（教育学）

### ■ 専修免許状

幼稚園／小学校／中学校（国、社、数、理\*、音、美、保体、技\*、家、英）／高等学校（国、地歴、公民、数、理\*、音、美、保体、家、英、農業\*、工業\*、商業\*、水産\*、福祉\*）／特別支援学校\*／養護教諭\*／栄養教諭\*

（\*：教職実践専攻のみ）

# 現職教員の方へ

子どもや学校を取り巻く環境が大きく変わるなか、現場の教員には高い実践力と専門性が求められています。現場教員も、大学院で研究を行い修士号を持つことが、いまや世界の趨勢となりつつあります。あなたも大学院で学び、実践を変えるきっかけを見つけてみませんか。

現職教員の方は、次のような方法で本研究科に入学することができます。

- 福島県教育委員会の研修派遣推薦を受ける  
⇒ 福島県教育委員会の長期研修制度があり、研修枠への推薦を受け、入学試験に合格すると2年間職場を離れて大学院での勉学、研究生活をおくることができます。
- 在職のまま昼夜間開講制の専攻で学ぶ  
⇒ 現在、学校臨床心理専攻では授業を昼夜間開講制で行っており、在職のまま大学院生となり、学んだり、研究を行ったりすることができます。
- 自主研修をおこなう  
⇒ 国の定めた「大学院就学休業制度」により、所属長の許可を得て休職し、大学院生となる道もあります。

## 長期履修制度

職業との兼ね合いで時間的制約がある場合、標準修業年限を超えて在学できる制度です。長期履修が認められれば、通常の2年の課程を4年または3年間で計画的に履修することが可能になります。修業年限が延びても教育課程や授業料の総額は通常の修業年限と同じです。

## 入学試験について

### ■ 入学試験の方法

- 一般入試：専攻ごとに学力筆記試験、面接、及び出願書類審査を行います。
- 現職教員特別入試：現職の教員を対象に、教育実践レポートに基づく面接、及び出願書類審査を行います。ただし、「学校臨床心理専攻」の「臨床心理領域」は一般入試のみとします。
- 学類所属生特別入試：人間発達文化学類生を対象に、学習履歴レポートに基づく面接、および出願書類審査を行います。

### ■ 入学定員

教職実践専攻 16名 地域文化創造専攻 17名 学校臨床心理専攻 7名

### ■ 入学試験日程

- 出願期間：平成30年9月25日（火）～28日（金）午後5時まで
- 試験日：平成30年10月17日（水）
- 合格発表：平成30年10月25日（木）

詳しくは、入試課(024-548-8064)までお問い合わせください。



問い合わせ先  
〒960-1296 福島市金谷川1番地  
福島大学 人間発達文化学類 支援室  
TEL 024-548-8101

<http://hdc.educ.fukushima-u.ac.jp/>